

目 次

■まえがき	竹内 潔（富山大学人文学部・准教授）	p.1
■研究組織とプロジェクトの概要		p.2
■アフリカ熱帯森林の狩猟採集民アカ人の野生植物利用	竹内 潔（富山大学人文学部・准教授）	p.3
■なぜ〈釣り〉や〈家庭菜園〉は楽しいのか？ —人間・自然関係への新しい人類学的視角	松井 健（東京大学東洋文化研究所・教授）	p.29
■生業形態からみるコリャーク語とエスキモー語の語彙的接辞の比較考察	呉人 恵（富山大学人文学部・教授）	p.31
■モンゴル医学と薬物	小松かつ子（富山大学和漢医薬学総合研究所・教授） 出口鳴美（富山大学和漢医薬学総合研究所・技術補佐員）	p.39
■いかにしてアーユルヴェーダを現代に活用させるのか —民族医療の知的潜在力をめぐる—考察	加瀬澤 雅人（京都大学東南アジア研究所・研究員）	p.49
■豊かな"老い"を求めて—本邦とアジアのフィールド医学の現場から—	松林公蔵（京都大学東南アジア研究所・教授）	p.53
■砺波散居村における子どもの遊び空間の世代間変化—南砺市飛騨屋の事例	大西宏治（富山大学人文学部・准教授）	p.57
■伝統知としての奄美シマウタの再構築：勝島徳郎・伊都子親子を例に	島添貴美子（富山大学芸術文化学部・講師）	p.69
■グローバル化する先住民芸術—オーストラリア・アボリジニのアート	窪田幸子（広島大学総合科学研究科・准教授）	p.77
■From 'Community through exclusion' to 'Marginalized and fragmented community': The Aka forest foragers society in the Republic of the Congo	竹内 潔（富山大学人文学部）	p.81
■Formalization of Customary Land Rights and Development Issues in Africa: The Case of Tanzania's Village Land Act, 1999.	雨宮洋美（富山大学経済学部・准教授）	p.89